

2015 年度 学校評価報告書

◎ 自己評価

【教育理念と目標】

帝塚山学院が設立にあたり提唱した「力の教育」を実現し、意志の力、情の力、知の力、躯幹の力といった、広い意味の力の漲った強い人物を育成する。

帝塚山学院泉ヶ丘中学校高等学校は、2015 年度で創立 33 年目を迎え、2016 年には帝塚山学院が 100 周年を迎えた。

泉ヶ丘校の教育目標としては、

1. 活力ある人間の育成
2. 創造性豊かな人間の育成
3. 協調性ある人間の育成
4. 国際感覚豊かな人間の育成 を掲げ、

2015 年度は、中学 16 クラス、高校は 6 年コース 14 クラス、3 年コース 6 クラスの合計 36 クラスの体制でスタートした。

達成度については、担当者判断、またはアンケートの結果から A～D 段階で表示する。

評価項目	重点目標	具体的な方策	達成状況	達成度	次年度への課題と改善策
進路指導	キャリア教育の推進	職業体験において、訪問企業をさらに拡大し、その後の発表会のプレゼンテーションでも技術面・内容面とも充実させる。	職業体験は多くの企業、研究者、医師、弁護士卒の卒業生の協力を得て実施し、生徒自ら気づく機会を与えた。また、社会人に必要な「人間力」についても学ぶことができた。12 月と 3 月には自ら作成したパワーポイントを用い、プレゼンテーションを行った。	A	訪問先をさらに拡大するため、OB を中心にさらなる協力をお願いする。 多様なキャリア教育に対応するため、教職員の授業改善と指導力向上に努める。
	進学実績の向上	中学校から高等学校への内部進学に関しては、自らの進路変更以外の生徒への指導を徹底することで 100% の進学率を実現する。	学力推移調査の結果を中 1 から中 3 の担任および教科担当とで分析し、経年比較や学習状況を検証した。	B	学力推移調査における各教科の経年比較をさらに徹底し、中学生の確かな学力を保証する。 京大阪大神大の合計は

		高3生は新しく改革を行った学年であり、大学合格者数が好結果に結びつくようにする。	今年度の中3生の内部進学率は98.5%だった。主な大学合格実績については京大2名、阪大10名、神大8名が合格したが、国公立大学合格合計は80名だった。		昨年と比較して5倍となった。国公立大学全体で100名合格を目指すべく、進路指導部と学年とが協力し、生徒一人ひとりの希望に対して多様性のある進路指導を行う。
生徒指導の充実	基本的な生活習慣の確立	挨拶の励行を促し、生活のリズムを守らせることで規則正しい生活を送らせる。	学校行事やホームルーム活動への取り組みに積極的に参加させる姿勢を確立させながら、マナーについて継続して指導した。	B	生徒に対しては、全教員が生活規律の改善に向けて、同様の指導を行わなければならない。 校長以下、副校長、教頭、学年主任が中心となり、粘り強く伝え続ける。
	学校生活の充実	日常の個人面談により状況を把握し、いじめにつながる事象に対する指導を徹底する。	メールやLINEの使い方などについて専門家からの話を聞かせた。 また、個人面談を利用して、それぞれの生徒の状況を把握し、指導にあたり、いじめ早期発見のアンケートを実施した。	A	遅刻の多い生徒に対しては、保護者と密に連絡を取り、該当生徒の生活習慣を改善させる。 早朝の挨拶だけでなく、生徒と廊下ですれ違うときなど、積極的な関わりを持って活発な雰囲気作りを目指す。
		遅刻を防止する。		遅刻の多い生徒に対し、各定例テスト終了後に早朝登校指導を行った。また、1日の遅刻数を全校生徒数に対し、1%以下にする。	B

学習指導の充実	基礎学力の定着	中学低学年での基礎学力を定着させる。	早朝読書や早朝テストを実施し、静粛の中で授業が始まる雰囲気を作った。 授業時間数を週 39 時間確保し、授業重視の学習指導を行った。	A	授業を受けるときの正しい態度を指導し、生徒が参加できる授業を行う。
	実力の養成	進路実現のための補講体制を確立する。	放課後や夏期休暇などに、レベル別に講座を設け、実力を向上させた。	A	放課後の使い方に関して、クラブ活動との重複をなるべくなくすようにする。
特別活動	学校行事・課外活動の充実	学校行事や課外クラブに積極的に参加させ、実績を向上させる。	泉ヶ丘祭では生徒会が中心となり運営にあたった。また、課外クラブにおいても、専門的なコーチの指導の下、取り組んだ。	A	泉ヶ丘祭ではさらに生徒会中心の運営ができるように、課外クラブ活動に積極的に参加するように促していく。
募集広報活動	入試広報の充実	効果的な広報活動を行い、入試制度も改革する。また、定員を充足する。	入試説明会やプレテスト、プレテスト個別懇談会などで泉ヶ丘校の内容を理解していただいた。また、中学校募集では新たに特別選抜コースとして 20 名を募集し、25 名の入学者であった。	A	今後も大学入試結果を含め、泉ヶ丘校のよい部分を積極的に発信する。そのためにはミニ説明会を含めた学校説明会、入試説明会を数多く開催する。
組織体制	信頼関係を基盤とした協力体制の確立	情報を共有し、生徒指導・学習指導での協力体制を確立する。	情報を共有化するためのシステムを構築した。	B	学校組織の活性化に向けて、一貫した学校組織マネジメントの考え方を教員に徹底する。情報委員会を中心に、教員が情報をさらに共有化しやすいようにシステムの改良を行う。

施設設備	施設設備面の充実	老朽化が進んでいるものに関しては必要に応じて改善する。	生徒トイレは換気装置の更新，洋式化へと更新させた。	B	自習室の設置，教室のIT化，トイレの洋式化を可能な限り進める。
------	----------	-----------------------------	---------------------------	---	---------------------------------

◎ 学校関係者評価

委員構成①帝塚山学院 評議員

②歯科医師

③建築会社取締役 管理建築士

④製造業会社員

⑤主婦

以上 5 名による構成

【学校自己評価結果に対して】

* 全体としてみれば，教育内容とその実践について肯定的に見ていることがわかる。特に対生徒・保護者への対応が丁寧である。しかし，環境教育については約半数が十分でないと考えていて，身近なゴミ問題から地球温暖化や原発問題など含めて，未来を展望した教育が必要だと考えていると思われる。

* 例年のように，最も評価平均が悪い項目である財務関係について，「財務に対する意識」で評価がレベルアップしているのは改善への突破口となっているのかと思われる。気になったのは，教育課程で「学習指導要領の対応状況」で全体的に評価ダウンとなっていることである。

* 教員研修・資質向上の項目において，教員の方々の多くがあまり達成できていないと評価している内容が多いようなので，今後はそれらの点において教員の方々が達成できているという実感や意識が持てるよう改善していければよいのではと思う。

* 私学の独自性を活かして教育や生徒指導に取り組んでいる様子を大変うれしく思う。

* 初任者サポート状況が達成していないと示している割合が多く，これが学習や生徒指導において不安を抱かせないかと感じる。

【保護者による学校評価結果に関して】

* どの項目でも圧倒的多数の保護者が学校に信頼を寄せているのが分かる。教職員の姿勢がこの評価を生んでいるのであり，泉ヶ丘の強みはここにあると思われる。全く達成できていないという否定的な回答もあるが，以前に比べてかなり少なくなっている。努力の結果でしょう。

* 保護者の評価も「教育課程」「学習指導」「進路指導」に対して改善が不十分と評価しているようで，特に「教育課程」の様々な進路に対応できる「教育課程」の整備が不十分でもっと改善を希望されているようである。一方，人権への取り組みに対しての高評価や安全や交通マナーに対する評価が上がってきている。各生徒の校外での行動が保護者の目で見てよくなっていることではないでしょうか。

* ほぼ達成できているのを保護者の皆様が評価されている様子である。先生方の努力が実っているのではないのでしょうか。「この学校に入学させてよかった」という問いの対する回答で，「達成できている」「ほぼ達成できている」が大多数であることはすばらしいことある。

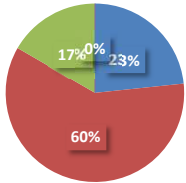
* 学習・進路指導に対して高い満足が示されていることが大学進路実績をあげているのだと感じる。

【その他の提言】

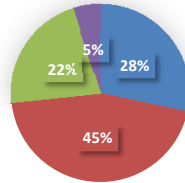
- * 財務関係，職員間の連携，教員研修などで半数以上の職員が充分でないと答えている。これらの項目では1割の人数は全くできていないとしている。財務関係は後に回しても，会議の有効性や教員研修のあり方に工夫が必要である。
- * 指導要領の改訂などで現場の先生が試行錯誤の真っ最中だと思われるが，このようなときこそ度々の変遷を経験している熟練の先生の先導が必要だと思われる。
- * 学校運営（特に財務関係），研修成果の共有状況，初任者のサポート体制において，「あまり達成できていない」の回答が多いので，「ほぼ達成できている」に移行できるよう，期待している。
- * 経営的や教員への負担を考えたら，多様な進路への対応は減らす方がよいだろうが，今後の児童の減少を考えたら，多様な進路指導や教育課程の対応ができるというアピールが学校としての生き残りにつながると思われる。
- * 登下校中の交通マナーの向上に保護者も含めて努めて欲しい。



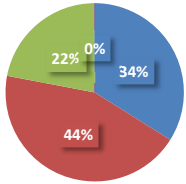
様々な進路希望に対応できるよう、教育課程(選択科目など)は適切に整備されている。



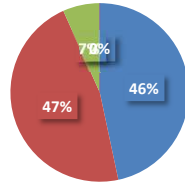
部活動は学習との両立について配慮がなされているとともに、生徒に十分な指導が行われている。



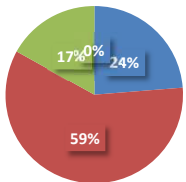
補習や講習は統一的に整備され、多様な進路希望に対応できる体制になっている。



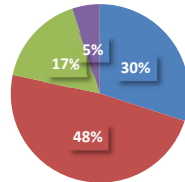
学校行事は充実しており、生徒の自主性の育成に役立っている。



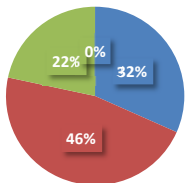
学習指導は充実しており、学力向上に十分な成果を挙げている。



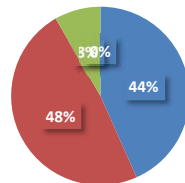
登下校の安全や交通マナーに関する指導が、十分なされている。



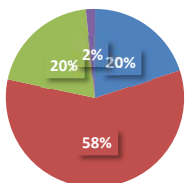
宿題や補習などを通じて、学習内容の定着を図る工夫がなされ、十分な効果を得て



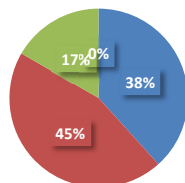
施設・設備は安全かつ衛生的に管理・整備がなされている。



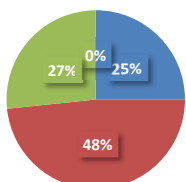
進路指導が充実しており、生徒の希望進路の発見・実現に十分寄与している。



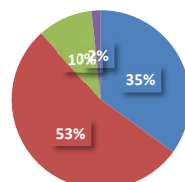
授業参観やPTA行事は適切な頻度で行われており、学校の様子をうかがい知る機会として機能している。



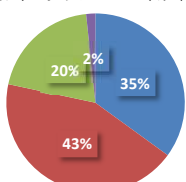
進学指導に必要な情報は、ガイダンスなどを通じて保護者にも十分に提供されている



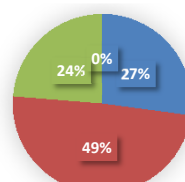
学校からのお知らせ文書などを通じて、必要な情報を不足なく得ることができる。



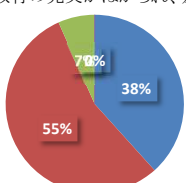
生徒指導は充実しており、規範意識と自律性の育成に十分寄与している。



教員はチームワークがとられており、どの教員に相談しても、一貫した対応が期待できる。



人権教育の充実がはかられ、差別やいじめの防止に十分な成果を挙げている。



この学校に入学させてよかった(知り合いや親戚にもこの学校を勧めたい)と思う。

